



明 卷 1-5  
2847  
1-5

2847  
1-5

14  
5

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

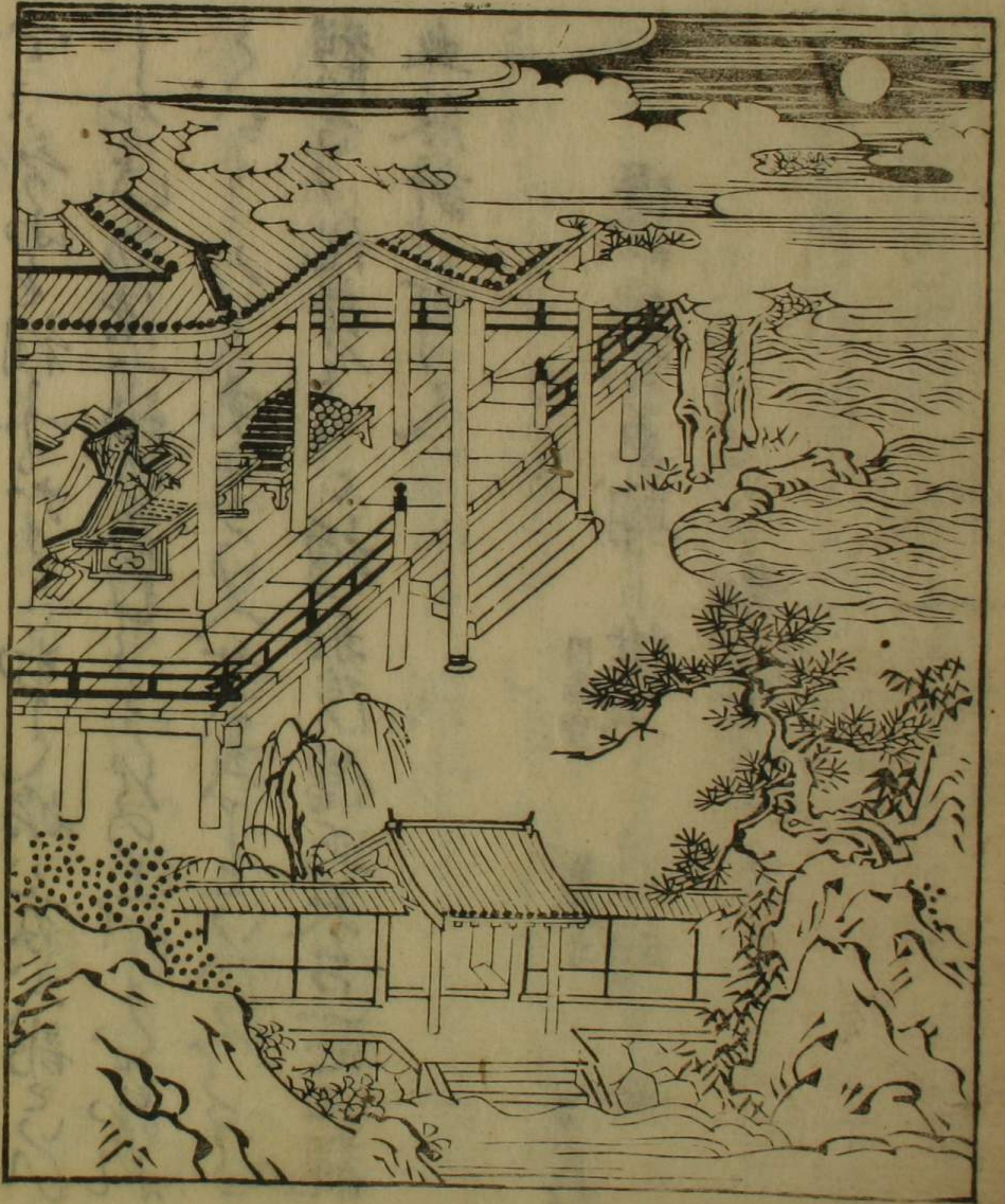












いづまの川河ふう女にかうのあまのこころのけさ  
 中よいとやんよぬさういあさぬうすくねのこま  
 めさねのあしきり  
いづまの川河といはぬ天の宮のあまのこころ  
 けさねのあしきりといまうつりのあまのこころ  
 梨木壺 照湯舎  
 梅壺 凝花舎  
 桐壺 佛宗舎  
 雷鳴壺 鼓琴舎  
 菴壺 香舎

いづまの川河ふう女にかうのあまのこころのけさ  
 中よいとやんよぬさういあさぬうすくねのこま  
 めさねのあしきり  
いづまの川河といはぬ天の宮のあまのこころ  
 けさねのあしきりといまうつりのあまのこころ  
 梨木壺 照湯舎  
 梅壺 凝花舎  
 桐壺 佛宗舎  
 雷鳴壺 鼓琴舎  
 菴壺 香舎



























Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

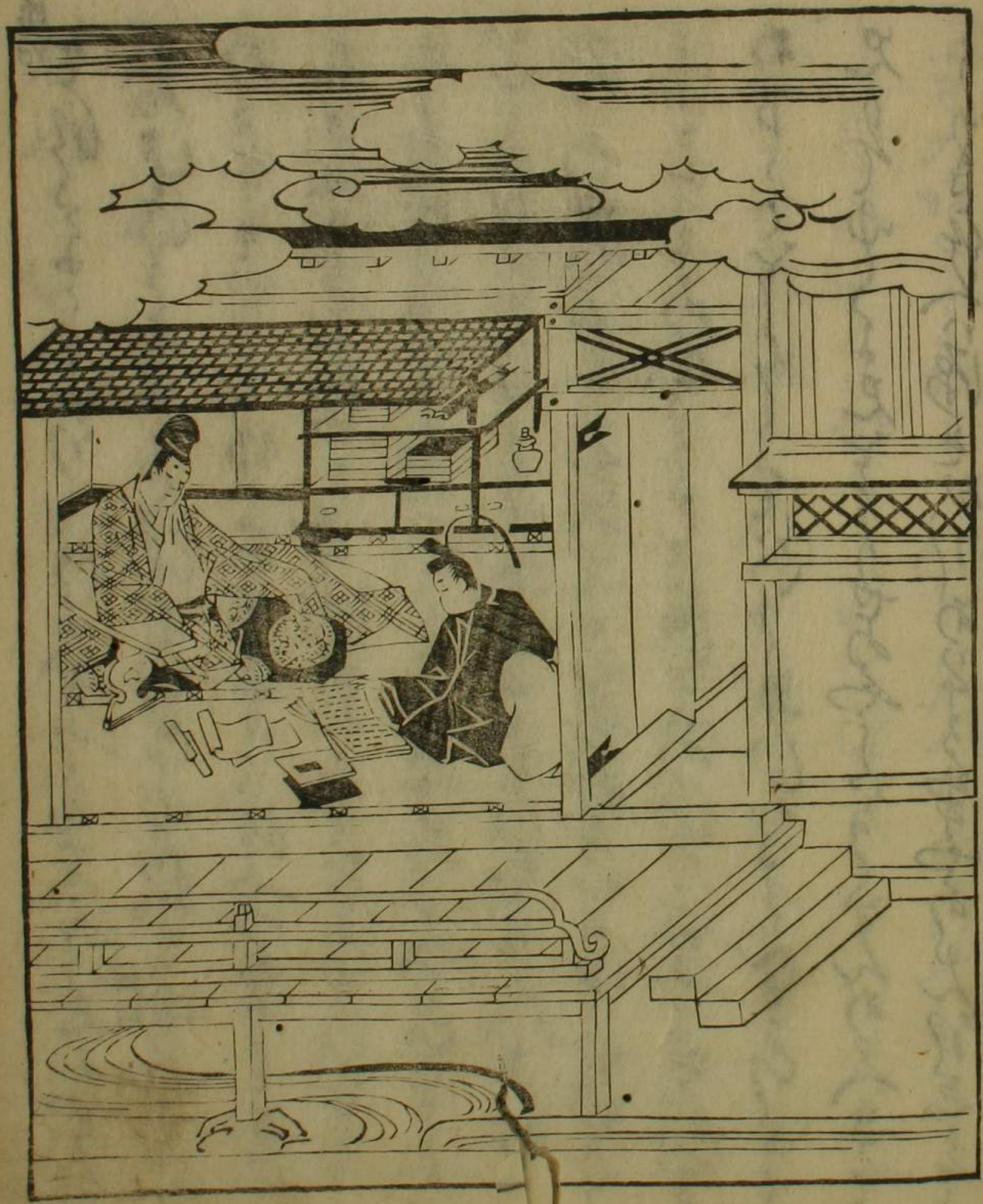
幕末

その時々の時々の

その時々の時々の  
その時々の時々の  
その時々の時々の

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across several lines.





Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese calligraphic style (sōsho). The text is arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of personal correspondence or literary works from the Edo period.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

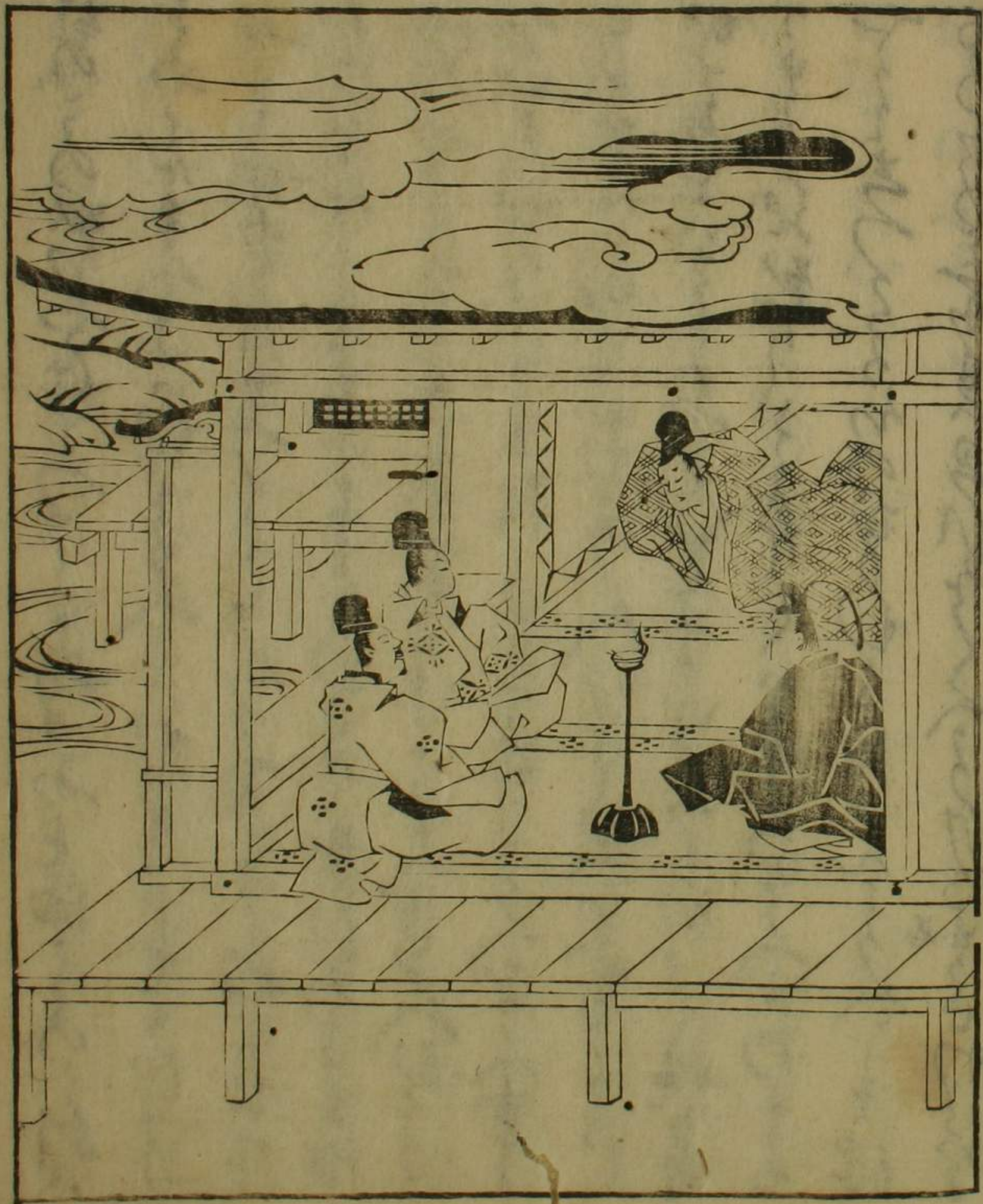
Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, with some lines starting with a small symbol or initial. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, with some lines starting with a small symbol or initial. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.





〆まゝにいゝけりて母にさし書い初めをきり奉りて  
 なるものありてはさるゝにたし何とさるゝはきりて  
 ちかゝりてさるゝにけりて何とさるゝにけりて  
 母にさし書い初めをきり奉りて  
 けりてさるゝにけりて何とさるゝにけりて  
 なるものありてはさるゝにたし何とさるゝはきりて







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and continuous across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and continuous across the page. There is a small mark or character above the second line of text.







Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, consisting of approximately 12 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, consisting of approximately 12 lines of text.

馬  
九  
九











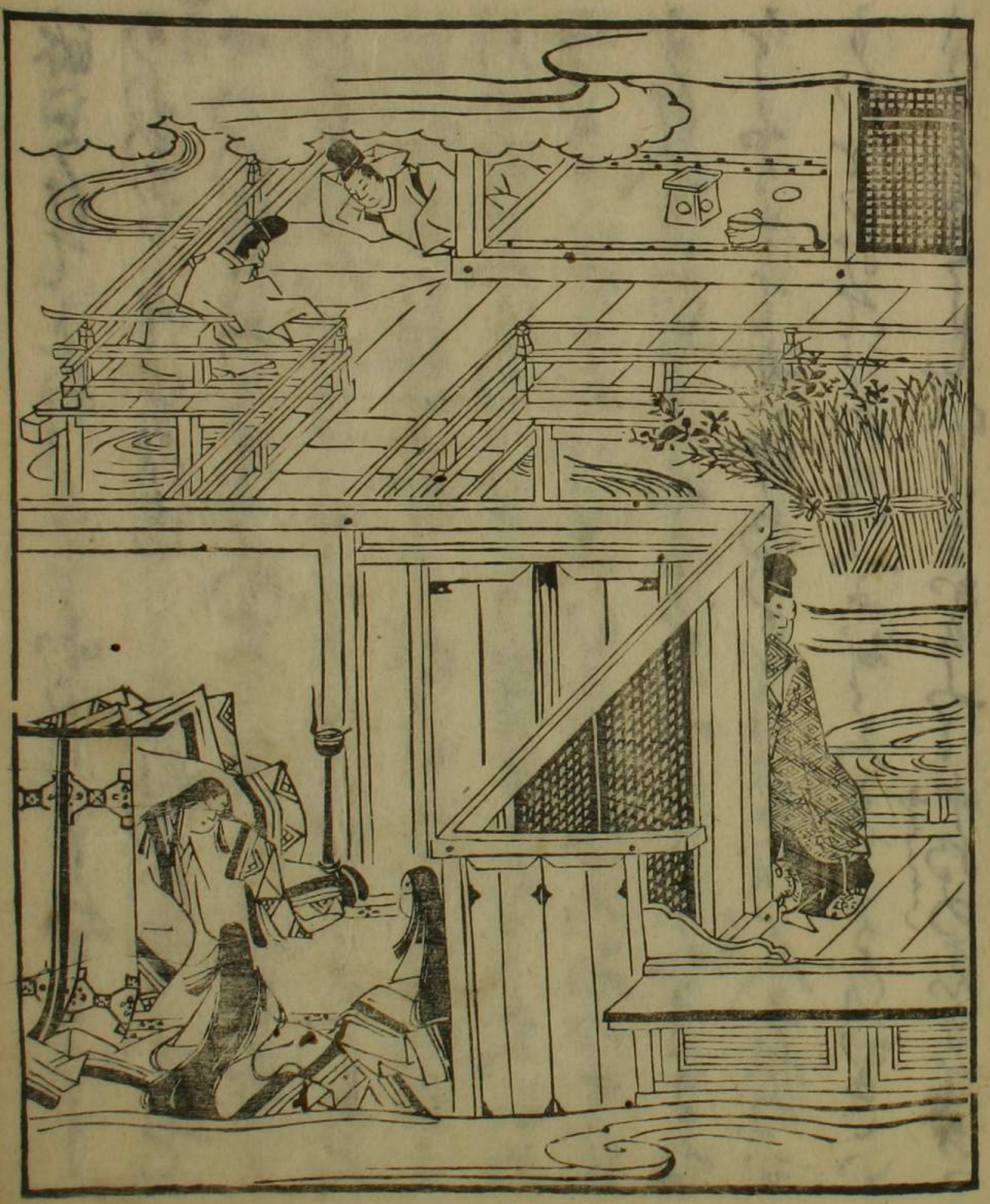








此の世に...  
 阿まら...  
 人か...  
 むの...  
 びり...  
 姫君...  
 いあ...  
 なる...  
 うく...  
 思ひ...  
 ちの...









Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.







Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.







さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
いふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人  
さういふ人さういふ人さういふ人さういふ人

かうして戸とあけさせらるに老るる女はさうして  
たそよ小恙もあらざりぬ月夜もあつた  
おそくひげをひげし又おそくひげをひげし  
さみ民部のおりてありとほねまたけさういふ  
てわらうさういふある城のうからしむ小恙を車  
も新婦とく二条院よあらうわ二条院の源の母の  
志らうさういふと終つてねと源つと源  
うけをんぬか城へくけつあめのか  
か城へくさういふさういふさういふ  
こかさ城へく小君さういふさういふさういふ  
むすあめさういふさういふさういふさういふ

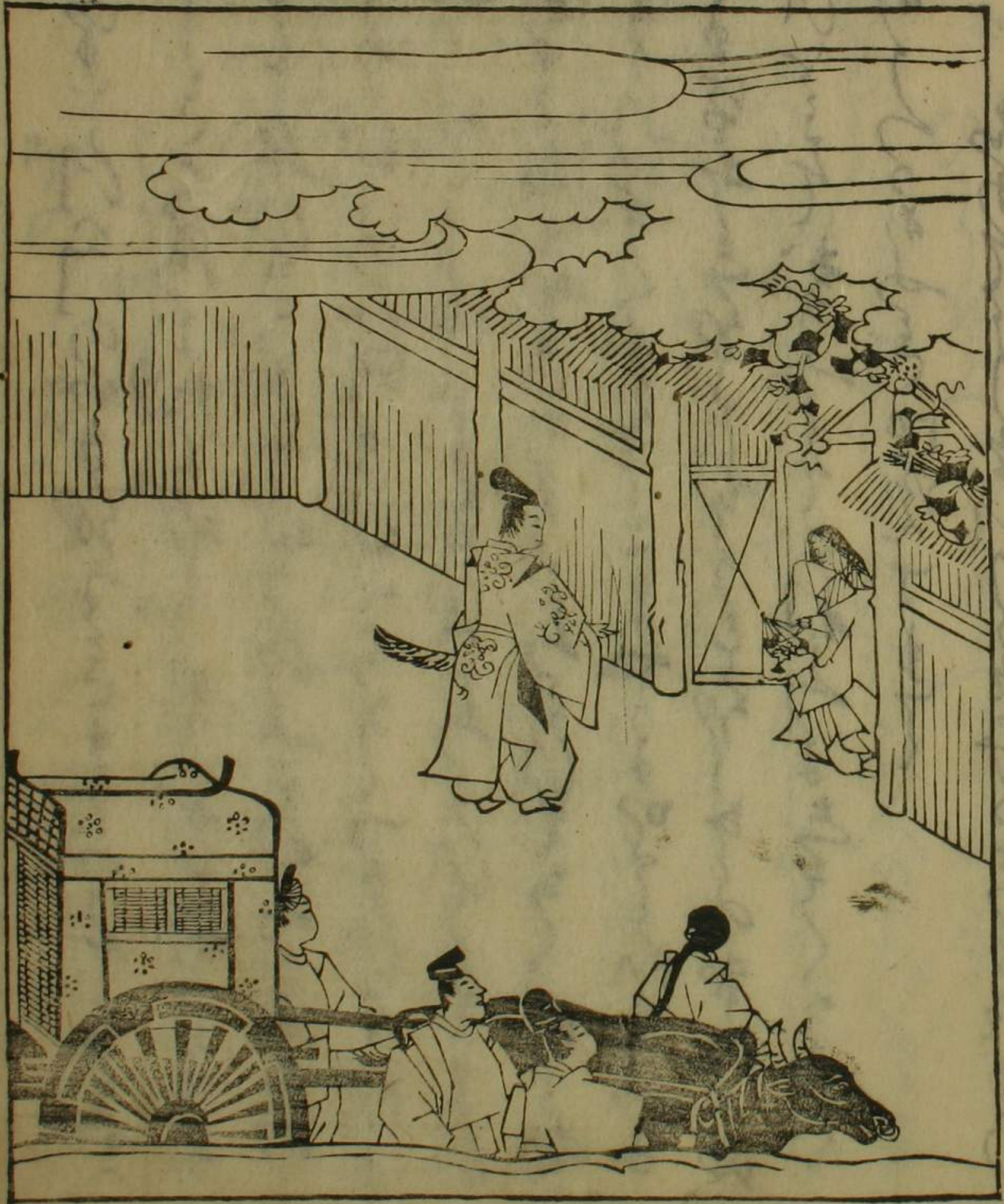












Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene or a related narrative. The text is written vertically and includes several lines of characters.

Additional handwritten text, possibly a commentary or a continuation of the narrative, located below the main text block. It includes some faint markings and a small red dot.

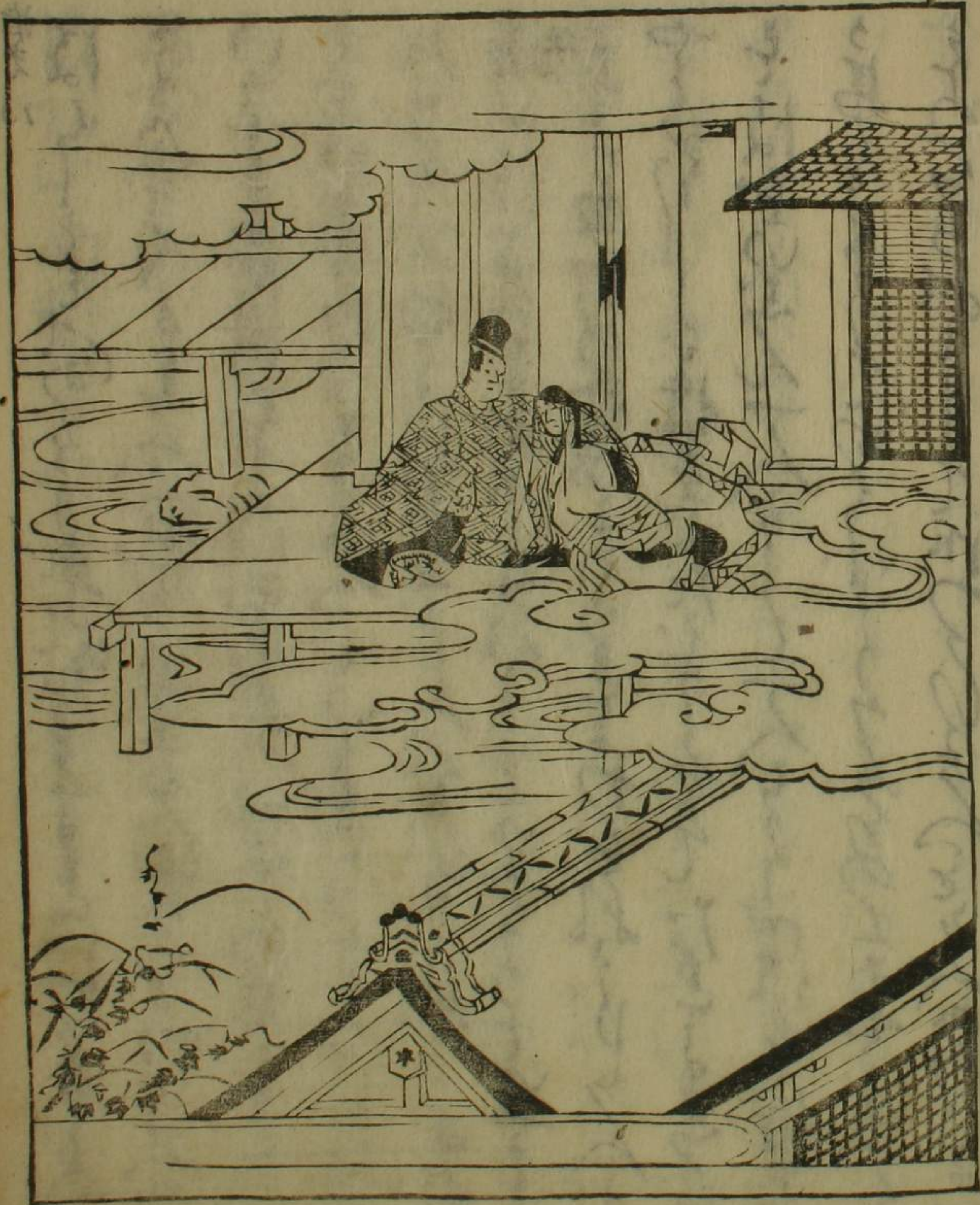












うららけは源をくくはてす  
 ちかきひききし人行く源

ちかきひききし人行く源  
 ちかきひききし人行く源

ちかきひききし人行く源  
 ちかきひききし人行く源

ちかきひききし人行く源  
 ちかきひききし人行く源

ちかきひききし人行く源  
 ちかきひききし人行く源







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'H' or 'H', followed by several lines of text. The script is dense and flowing, characteristic of early modern cursive. There are some faint markings and a small rectangular box or stamp visible in the lower right quadrant of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'H' or 'H', followed by several lines of text. The script is dense and flowing, characteristic of early modern cursive. There are some faint markings and a small rectangular box or stamp visible in the lower right quadrant of the page.































とてあゆむとなしそそぞろに

いづれかおのれをば

源もろくもあはれなる

うらみもあはれなる

又らあはれなる

ゆゑにあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

あはれなるあはれなる

一



























あはれいかなんやうけなせんま

あまのまゝにうらなひをいふはかたし

高の殿よわらうねてまんまのまにまある

ちりあふちりあふの目のかうあまのま

くわあうてくわあうてのまのまのま

源乃まゆれゆまのまのまのま

んてまのまのまのまのまのま

せうくくくくくくくくくくく

海のはまのまのまのまのまのま

あつてまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま



うしろの月舟の影はなほまじりて成り  
こみさのよすの影の深きよ 影もいかに  
あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに

あつらひぬほほしくいかに



まきさかぬくそくは車よのせぬよが細言もあまのこ  
りしてうめを座すしきさうらうらうらうらうらうら  
かてのつあに多院よあうしきとよふふらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうらうら  
日なうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
姫まうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
おらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうらうら  
かてのつあに多院よあうしきとよふふらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうらうら  
日なうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
姫まうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

姫ま

### 末摘花

源をヤニ肩より次の年れまきその  
よこしうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうら  
かてのつあに多院よあうしきとよふふらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうら  
日なうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
姫まうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
おらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうら  
かてのつあに多院よあうしきとよふふらうら  
あそいそえそいおらうらうらうらうらうらうら  
日なうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
姫まうらうらうらうらうらうらうらうらうら



たらうはなをりこりたる都にあらねん  
とあせらぬ中ね海の西にありて大なる島に  
あはれなるをさうらうとていふ事あり  
しうはるあまのしうはるのあまのし  
うはるあまのし

は  
あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし

あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし

あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし

あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし

あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし

あまのしうはるあまのしうはるあまのし  
うはるあまのしうはるあまのし











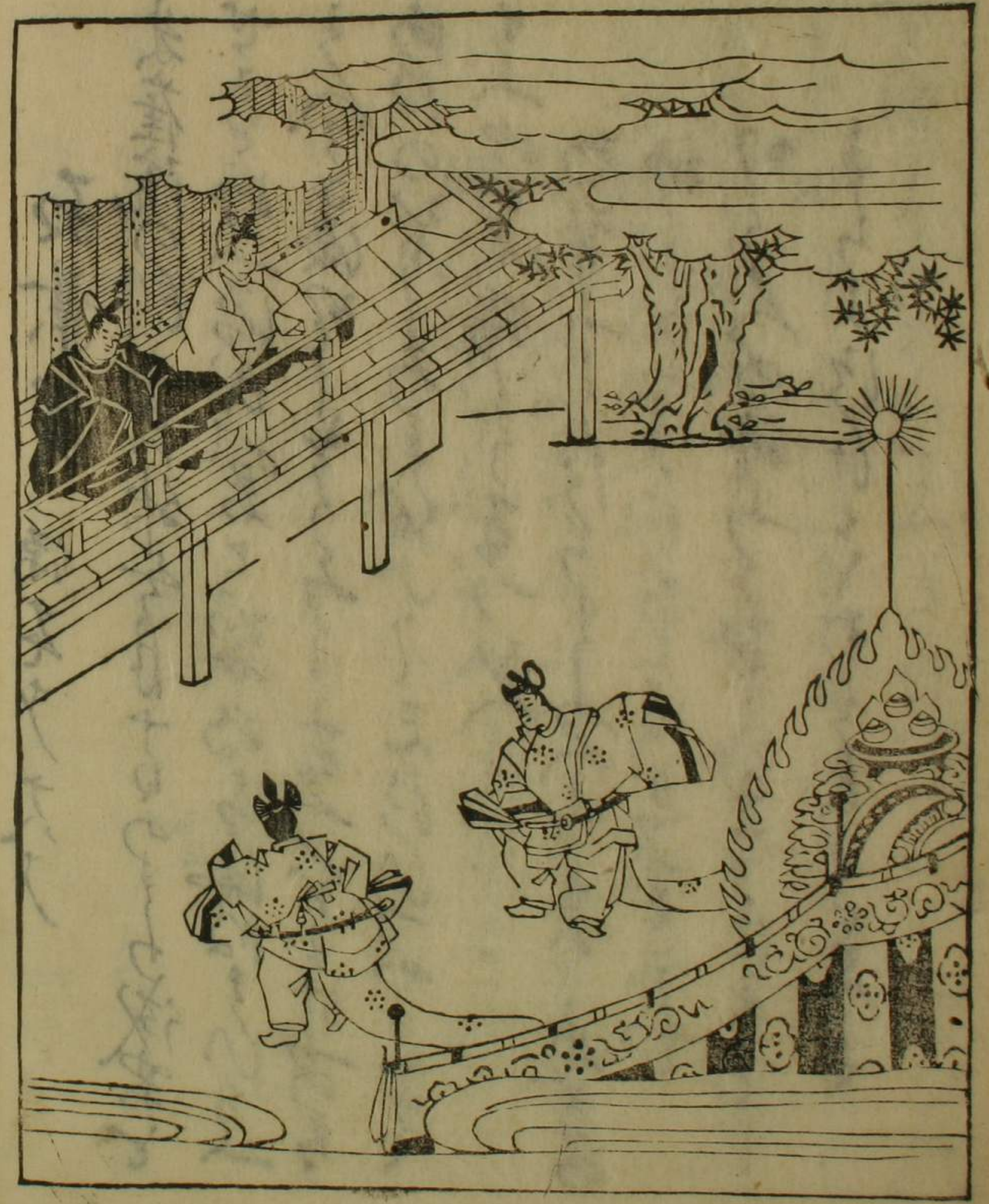








新井のよきまゝに  
 かくのまゝに  
 平人の心  
 ちやま  
 て菊  
 乃  
 を  
 し  
 若  
 ひ  
 め

















うにびさし。しんりのまゆめ。かきさる。あすの  
か。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。  
あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。  
あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。  
あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。  
あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

源流いしりし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。  
あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。

あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。あまのし。



内約あり候しつてあらはるるもあつはるるおはよき事  
かこつてあつてなまはる

うらやまをいふはうらやまをいふはうらやま

ひさかたのうらやまをいふはうらやま

あつてはうらやまをいふはうらやま

はなをいふはうらやまをいふはうらやま

中をいふはうらやまをいふはうらやま

うらやまをいふはうらやまをいふはうらやま

あつてはうらやまをいふはうらやま

あつてはうらやまをいふはうらやま

源の宰相は成るよ若つたのよあつてはうらやま

とちりせとちりせとちりせとちりせとちりせ

をいふはうらやまをいふはうらやま

源をいふはうらやまをいふはうらやま

あつてはうらやまをいふはうらやま

花宴

源十九

まきこころにありあつてはうらやまをいふはうらやま

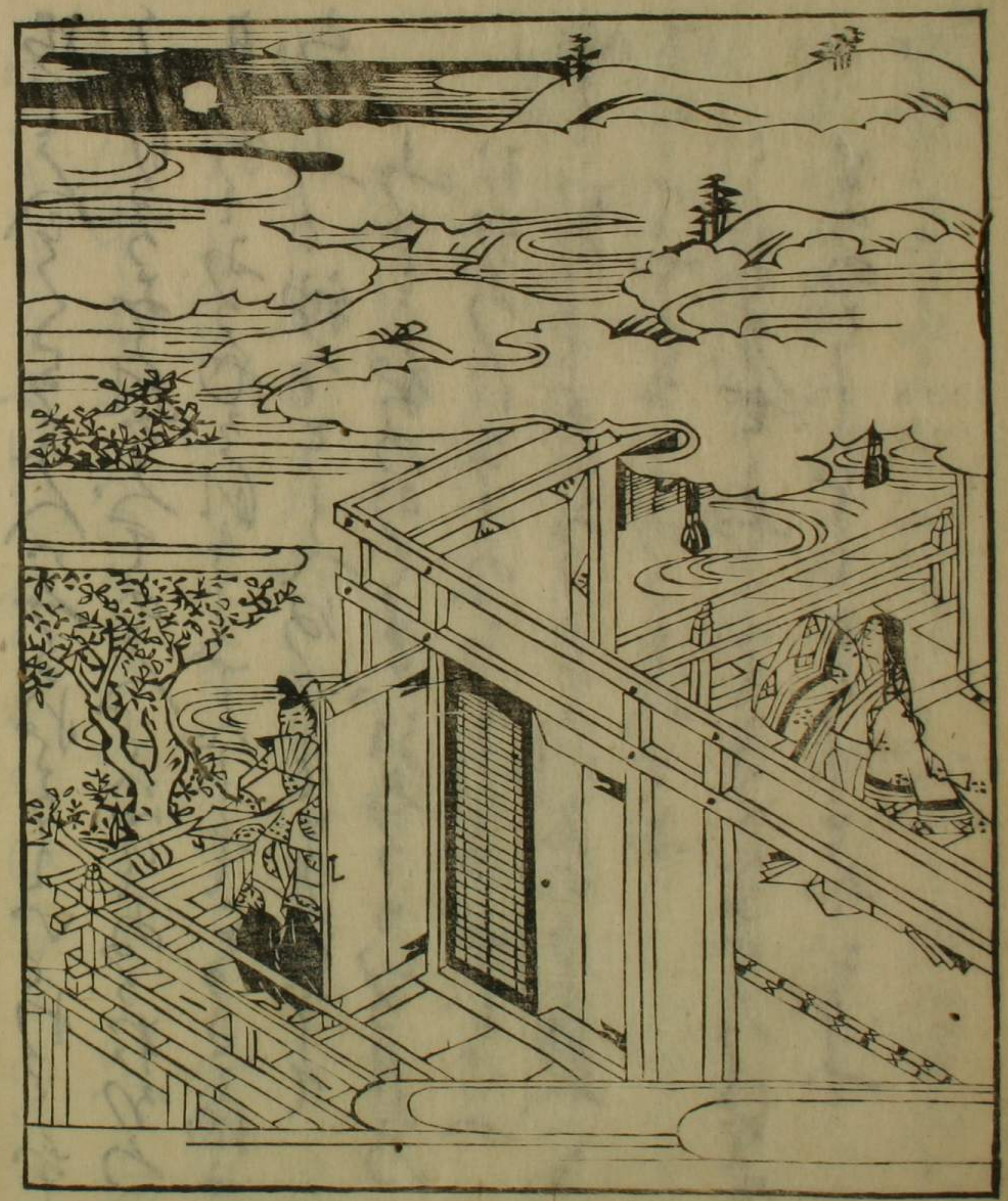
源の中をいふはうらやまをいふはうらやま





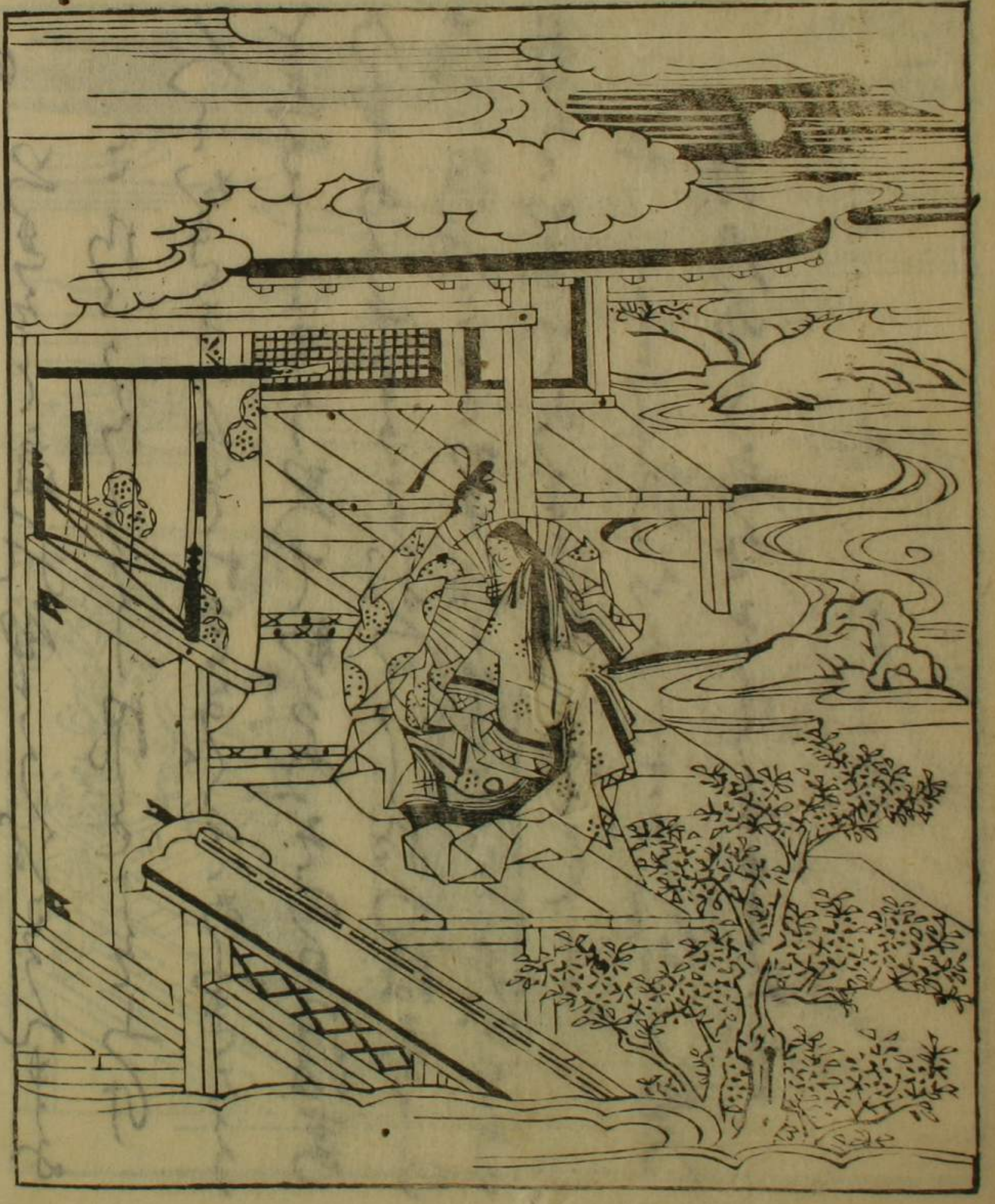


保  
 こゝろをいへば  
 人かきこひの  
 とまへてあはれ  
 乃事ありて  
 静の揺れ  
 月を  
 在  
 月乃





解しひの舟の若者のえんよ揃二まくられさ  
 いかりもさふ源氏れあめをさのたを  
 我々の花はかへてあつらな  
 なあつらな  
 けさるねまきとれてさつらねるあま  
 しつゆは深きあひをさつらねるあま  
 ちとれらねるあまきとれんよ源氏乃女  
 女三おしとす戸のあまきとれんよ  
 けさるかつてはねるあまきとれんよ  
 源  
 あつらな  
 あつらな月乃かきやえあつら



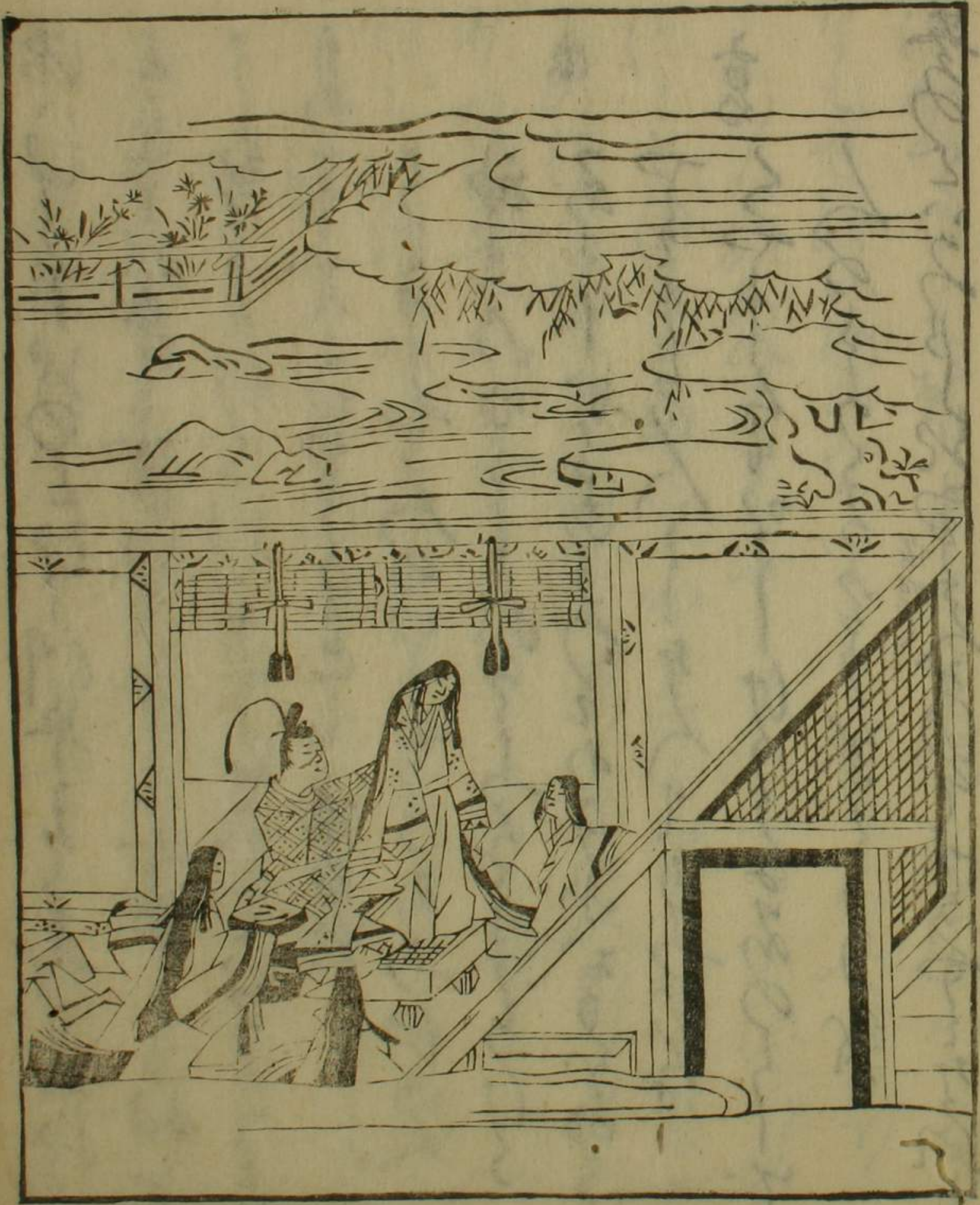












源ハニ多虎よちんてしるるのよ乃に  
 くらひのさしむるのさしむるの  
 下さしむるのさしむるのさしむるの  
 源ハ源

業

くらひのさしむるのさしむるの  
 むいゆのさしむるのさしむるの  
 くらひのさしむるのさしむるの  
 くらひのさしむるのさしむるの











人乃世をあらはしむるはあはれ  
とくく袖をちりしむるはあはれ

原

とせらめよきしもあはれあはれ

はつらひのあはれはあはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

わが世にあらはれしむるはあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ



おのゝこゝろをいふは

あゝとていふは

又

あゝとていふは

あゝとていふは

中々のいふは

今もぬのあゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは

あゝとていふは







